

教育委員会会議録（6月定例会）

日 時

平成30年6月28日（木）
午後1時30分から午後2時50分まで

場 所

日立市役所 庁議室

出席委員

教育長	中山 俊恵
教育長職務代理者	中村 雅利
委 員	上村 由美
委 員	朝日 華子
委 員	土屋 静治

委員以外の出席者

教育部長	窪田 康德
総務課長	松本 正生
学校施設課長	石川 涉
学校施設課課長（新調理場建設担当）	佐藤 行男
学務課長	中島 修
学務課課長	鈴木 伸治
生涯学習課長	飯塚 優
スポーツ振興課課長補佐	松永 朗
指導課長	折笠 良平
指導課課長	稲田 訓子
郷土博物館長	豊田 瑞穂
記念図書館長（兼）視聴覚センター所長	山田 美幸
教育研究所長	勝間田 忠彦
宮田調理場長	荒川 敏明
総務課課長補佐（兼）庶務係長	鷺 秀哉
総務課課長補佐（兼）計画財務係長	酒地 康彦
総務課主幹	吉野 成実

議 事

報 告

報告第 6 号 教育委員会 5 月定例会の会議録について

議 案

議案第 2 3 号 日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

議案第 2 4 号 日立市社会教育委員の委嘱について

その他

- (1) 平成 3 0 年第 2 回市議会定例会について
- (2) 第 7 次行財政改革の推進状況について
- (3) 平成 2 9 年度審議会等の開催状況について
- (4) 外国語指導助手（A L T）の新規任用等について
- (5) 学校評議員及び学校運営協議会委員の委嘱状況について
- (6) 日立風流物展示施設整備検討について
- (7) 長者山遺跡の国史跡への指定等について
- (8) 教育委員会関連行事等について
 - ア 学校夏季休業期間中の教育委員会関連行事について
 - イ 「日立市一斉ラジオ体操の日」の実施について
 - ウ 平成 3 0 年度日立市教育振興大会の開催について

会 議 の 概 要

1 開 会

教 育 長 それでは、只今から6月の教育委員会定例会を開催します。
本日は、傍聴希望者が1人おります。
傍聴を認めてよろしいでしょうか。

全 委 員 結構です。

(傍聴人入室)

2 報 告

報 告 第 6 号 教育委員会5月定例会の会議録について

教 育 長 それでは、まず、報告第6号について御意見を伺います。
いかがでしょうか。

全 委 員 特にありません。

教 育 長 それでは、本件については、承認されました。

3 議 案

議 案 第 2 3 号 日立市立小中学校学区審議会委員の委嘱について

教 育 長 それでは次に、議事に移ります。
議案第23号について、学務課長から説明をお願いします。

学 務 課 長 日立市立小中学校学区審議会委員に欠員が生じたため、新たに委員を委嘱するものです。任期は、平成30年7月1日から平成31年6月30日までとなります。新たな委員については、学校長や各学校のPTA会長等で計10人です。

日立市立小中学校学区審議会は、教育委員会の諮問に応じ、小中学校の学区に関する事項を審議し、教育委員会に答申する組織です。

教 育 長 それでは、議案第23号について、可決することよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第23号については、原案可決と決しました。

議 案 第 2 4 号 日立市社会教育委員の委嘱について

教 育 長 次に、議案第24号について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 日立市社会教育委員は、平成30年6月30日をもって任期満了となるため、新たに委員を委嘱するものです。新たな任期は、平成30年7月1日から平成32年6月30日までの2年間です。

委員は全体で16名おり、うち新たに委嘱する委員は5名です。

社会教育委員は、社会教育法の規定を受け、市の条例によって設置しているもので、社会教育に関する諸計画の立案や、教育委員会からの諮問への意見、その他必要な調査研究などを行うために設置しています。

教 育 長 それでは、議案第24号について、可決することよろしいですか。

全 委 員 異議なし。

教 育 長 議案第24号については、原案可決と決しました。

4 そ の 他

(1) 平成30年第2回市議会定例会について

教 育 長 続きまして、その他に移ります。
その他(1)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 平成30年第2回市議会定例会については、平成30年6月7日(木)から6月20日(水)の会期で行われました。

質問及び答弁の概要ですが、教育委員会関連としては、一般質問が議員6人から計9件で、議案質疑はございませんでした。

まず、高安 博明 議員です。

「スポーツ施設の整備計画について、設備の更新や再整備には高額な予算措置が必要になるので、市内全域のスポーツ施設整備計画を策定する必要があると考えるがいかがか。」という質問がございました。これに対し、スポーツ施設の整備計画は、今年度策定を進めている、スポーツ振興計画を包含した教育振興基本計画に、整備

計画を盛り込んでいくこととし、策定に当たっては、パブリックコメントを実施するなど、幅広く市民の皆様からの御意見をいただきながら進めていく旨を答弁しました。

次に、「折笠スポーツ広場の整備について、自由広場が人工芝生化されたことで利用者数が増加しており、駐車場不足となっている。新たな駐車場を整備すべきと考えるが、いかがか。」という質問です。これに対しては、駐車場の新たな造成や周辺の未利用地等の活用を含め、駐車台数の確保について調査を行っており、早急に検討を進めていく旨の答弁をしました。

併せて、「自由広場には観覧席がないことから、ランニングコースで観戦する方も多くみられるため、観覧席を整備してはどうか。」という質問もあり、観覧席の設置場所や規模、整備方法などを検討していく旨を答弁しました。

続いて、塚田 明人 議員です。

歩行者の安全確保と、日立市通学路交通安全プログラムに関する質問です。「合同点検等の結果、新たに把握した危険箇所については、現在公表されているが、例えば、ペイントが落ちてしまった通学路のグリーンベルトなど、一旦危険箇所として認定したところの再整備については、これまで公表されておらず、保護者や地域の方から、いつ再整備されるのか分からないとの不安の声がある。過去に対策が図られた箇所についても公表すべきと考えるが、いかがか。」という内容に対し、今後は、再整備を要する箇所についても公表し、プログラムの実行性・有用性を高めていきたいと考えている旨を答弁しました。

次に、助川海防城を活用した郷土愛の醸成について、また、助川海防城と7つの海防施設についてです。「助川海防城や海防施設を学校の郷土学習でも地域の講座等でも題材とすることで、郷土愛の醸成につながるものと考えているが、いかがか。」という質問がございました。これに対し、子どもたちについては、郷土学習を通して、郷土愛の醸成について努めていくところであること、保護者や地域の方々については、各地域で実施されている魅力再発見ウォークや郷土博物館で開催する歴史講座などには、毎回、多数の参加者がおり、郷土日立に対する市民の高い関心をうかがうことができることから、生涯学習の観点から、誰もが助川海防城について関心を持つことができるよう新たな資料の作成についても検討していく旨の答弁をしました。

また、助川海防城入部行列について、「以前、日立さくらまつりにおいて、助川海防城入部行列が行われていたが、平成15年を最後に行われていない。まちの活性化にもつながると考えるので、復活できないか。」との質問もございました。こちらに対しては、助川海防城入部行列の復活に当たっては、まず気運の醸成を図ってい

くことが重要であり、郷土に関する学習機会の着実な展開を進めながら、実施のタイミングについても検討していきたい旨、答弁しました。

続いて、瀬谷 幸伸 議員です。

日立市市民運動公園の課題について、「市民運動公園周辺道路の渋滞緩和と安全性の確保について、イベント開催時等は、周辺の横断歩道を渡る歩行者が途切れず、交差点で右・左折車両が進行できないことが、渋滞を招く要因となっている。来年の国体開催時には、更に多くの来場者が訪れ、その後も日立市の集客のスポットとなることから、渋滞緩和は急務であり、抜本的な解決は難しいとしても、早急に対策を検討すべきだ。」という御提案でした。これに対し、まずは、来年の国体開催に向け、交差点等への誘導員の配置や歩行者の誘導策、車両の動線の検討を前提に、早期に日立警察署や道路管理者との協議を進めていく。また、長期的な対策としては、国体開催時の混雑状況を検証し、人と車の動線と安全性の確保等について、抜本的な対策を検討していく旨の答弁をしました。

また、市民運動公園の分煙化について、「平成31年度の茨城国体までに、選手、関係者全員が気持ちよく競技、観戦を行えるよう、完全分煙化の環境整備を急ぐべきだ。」との御提案がありました。これに対しましては、より分煙に配慮した喫煙場所の設置に向け、その規模、設備及び配置等を至急検討し、国体開催までに整備を図っていく旨の答弁をしました。

続いて、添田 絹代 議員です。

子どもの子育ての中での医療的支援について、「日立特別支援学校での医療的ケアの必要な児童生徒についての現状と、医療的ケアを必要とする児童生徒の受け入れをスタートさせた思いについて伺いたい。」という内容でした。これに対し、医療的ケアの現況について、主なケアの内容は、「痰（たん）の吸引」と「経管栄養」で、いずれも命に関わる医療行為であり、看護師がいつでも対応できる環境が求められるものであること、受入人数については、これまで1人から2人で推移していたが、昨年度は4人と増加に転じ、今年度は7人に急増していること、また、今年度から新たに加わった「導尿」など、難しい医療行為もあるため、より熟練を要する傾向にある一方で、施設の受入規模や看護師の確保など、今後も受け入れを継続していくための課題も多く、今後は、受け入れの在り方について、検討する必要があることなど、現状と課題について答弁をしました。

次に、「医療的ケアに携わることができる看護師の拡充を図ることについて」質問がございました。これに対しては、昨年度までの2人から1人増員し、3人の体制でスタートしたが、児童の身体状態の悪化や、先程説明しました「導尿」など必要とされる医療的ケ

アの内容が増えたことにより、もう1人増員する予定であり、今後
も、児童生徒が十分な安全管理体制の中で学校生活を送ることが
できるよう、適切な看護員の配置に努めていく旨の答弁をしまし
た。

次に、「日立特別支援学校の校舎改築を検討する際には、現在の
知的障害教育部門に、医療的ケアを含む肢体不自由部門を加えら
れるように、保健福祉部との連携や、県への働きかけを検討しては
どうか。」との質問がございました。これに対しては、医療や福祉の
視点を踏まえて、県との連携を図りつつ、子どもたちの安全で、よ
り良い学びの環境の在り方について、更に調査研究を進めていく
旨、答弁をしました。

次に、スポーツに取り組みやすい環境づくりについて、鳩が丘ス
ポーツセンター解体後の障がい者スポーツの取組に関する質問が
ありました。「池の川さくらアリーナは、一般利用受付の前に一部
の団体による日程調整会議が行われており、障がい者各団体では予
約が取れない現状である。今後、池の川さくらアリーナで障がい者
がスポーツに取り組める環境づくりをどのように考えるか。」との
質問でした。これに対しては、障がい者団体についても、利用の
形態や規模等によっては、利用調整会議の対象になり得ると考え
ており、その場合には、利用調整会議に参加してもらい、他団体との
調整が図れるよう努めていく旨、答弁いたしました。

また、鳩が丘スポーツセンター解体後の障がい者スポーツの取組
について、「高齢者のグループにリハビリ目的で40代の方が1人
参加しているような場合や、障がい者のグループが利用する場合
も、障がい者1人につき介助者1名までは2分の1減額になるが、
視覚障がい者の体操教室のグループでは、安全面を考慮し2名の介
助者が必要となることがあり、その場合は、減免の基準に該当しな
くなるなどの不都合がある。これらの使用料の減免について、執行
部の考えを伺いたい。」との質問もあり、これに対しては、合理的
な理由がある場合には、柔軟に対応することも必要と考えており、
例えば、高齢者団体及び障がい者団体については、団体登録をす
ることで減免の対象とするなど、対応について検討していく旨、答
弁しました。

続いて、伊藤 智毅 議員です。

子どもを取り巻く環境について、「日立市において、児童生徒を
守るため、市や警察をはじめとして、コミュニティも含め、どのよ
うな防犯対策を実施しているか。」という質問がございました。こ
れに対しては、日常的な防犯パトロールや防犯キャンペーンなど取
組の現状を説明した上で、関係機関のより一層の連携強化を図る旨
説明しました。

議員からは、今後の対策強化として、「行政や警察など関係機関
が、今まで以上に連携を強化して具体的にどのような防犯対策に取

り組むのか、また、学校現場や保護者、地域コミュニティ等とも今まで以上に協働、連携を強めながら、具体的にどのように防犯対策を強化していくのか。」についても質問があり、「警察と学校との連絡制度」をもとに、更なる連携強化を図りたいと考えていること、また、学校運営協議会の場においても、防犯対策の強化について、連携を深めることができるよう取り組んでいく旨の答弁をしました。

次に、放課後子ども教室について、「平成22年度から実施されてきた田尻学区での事業経過や、今年度、新たに始まった2学区の事業など、子ども教室の現状はどのようになっているか。また、どのような課題を認識しているか。」質問がありました。これに対し、取組を行っている田尻学区、埴山学区、滑川学区の3学区ともコミュニティなど地域団体による運営であり、全ての教室で、参加希望者が定員の30名に達している状況であること、また、将来的な放課後子ども教室と児童クラブの一体的な開催を想定し、月1回は児童クラブとの合同開催を予定している旨の答弁をしました。

また、子育て支援課が所管する「ひたち子どもプラン2015」において放課後子ども教室に関する記載がありますが、これに関連して、『「ひたち子どもプラン2015」』によると、放課後子ども教室は、全小中学校に整備する計画になっており、来年度の計画期間内での達成は難しいと思えるが、今後、この事業をどのように展開しようとしているのか。」との質問がございました。これに対しては、丁寧に進めていく必要がある旨説明した上で、より円滑で効果的な運営方法を検討し、「次期子どもプラン」に盛り込み、全小学校区への導入を目指し、推進していきたいと考えている旨の答弁をしました。

次に、コミュニティスクールに関して、「昨年度からモデル校により、学校運営協議会の設置を進めているが、昨年度の実施状況、今年度の進捗状況と現状においての課題について伺いたい。」との質問があり、昨年度設置した、会瀬小学校と駒王中学校の2校の取組を紹介し、協議から大きな成果を得たことと、今年度、新たに7校を選定し、中でも埴山小学校においては、コミュニティスクール協議会として、学校運営協議会と、「埴山コミュニティ」の学校支援組織を統合することにより、より密接に連携できる組織となっていることなど、国の示した組織の形態を柔軟にとらえた、モデル事業にふさわしい好事例となっている旨説明しました。

議員からは、「全ての小・中学校に学校運営協議会を設置する方針のようであるが、今後の事業展開について伺いたい。」旨の質問もあり、現在策定を進めている次期日立市教育振興基本計画に位置付けて取り組んでいくこと、導入に当たっては地域の皆様と丁寧に協議を重ねながら進めていくことを答弁しました。

続いて、三代 勝也 議員です。

国・県が示している運動部活動の運営方針を受け、「市内中学校の部活動の現状について、運動部活動の設置数などについて伺いたい。」旨の質問がありました。中学校15校での設置数は、173であり、男女卓球部が15校全てに設置されているほか、サッカー部、女子バスケットボール部の設置が14校であること、合同チームを組んでいる部活動について、軟式野球部が2チーム、サッカー部が1チームずつ合同で出場していることなどの現状を説明しました。

また、『茨城県運動部活動の運営方針』が示されたが、日立市においては今後の運動部活動の方針と計画をどのように進めるのか。」についても質問がありました。部活動の活動時間を平日1日当たり2時間程度とすること、早朝練習を原則禁止していることや、「地域エキスパート事業」は、部活動指導員の導入の先駆けとなっているものなど、本市の方針策定に当たって、国・県の方針に沿いつつ、学校や保護者の意見を得ながら進めていく旨答弁しました。

次に、日立市立南部図書館の魅力向上について、「南部図書館は、開館から5年が経過したが、これまでの市民の利用状況や蔵書数の推移、職員及び司書の配置状況について伺いたい。」というものでした。開館5周年を迎え、毎年18万人を超える利用者数となり、今年度中には、延べ来館者が100万人を超える見込みである。また、蔵書数については、間もなく、計画蔵書数の9万3千冊を達成する見込みである。今年度の職員数は、臨時職員を含めて19人で、そのうち、司書資格を持つ職員を10人配置している旨説明いたしました。

また、「南部図書館の魅力向上に向けた取組はどのようなものを行っているのか、例えば、海や地元の産業でもある漁業に関する本の展示や、夏休みを控えている小中学生を対象とした特色ある取組について検討してはどうか、また、赤羽緑地を守る会などと連携し、地域について学ぶイベントなどを開催してはどうか。」という御提案もございました。これに対しては、地域の協力を得ながら、大人はもとより、子どもたちが地域の自然や産業などに興味・関心を持ち、学ぶことができるよう取り組んでいく。また、市内で唯一、BRTの停留所が併設されている交通利便性の高い図書館であることも含め、市内外に、幅広く南部図書館の魅力を発信できるよう努めていく旨説明しました。一般質問については以上です。

続きまして、教育福祉委員会について御報告します。

議案が3件、報告が2件でした。議案第38号平成30年度日立市一般会計補正予算については、前回の教育委員会定例会で御説明しましたとおり、豊浦小学校・久慈小学校の改築事業、小中学校の

トイレ改修、新調理場の建設事業、教育プラザの空調改修事業、また、寄附金の受け入れに伴う、小学校3校（水木小、大みか小、久慈小）の集会テントの購入費が主な内容です。議案第47号の専決処分とも関連し、いずれも、平成29年度国庫補助事業に採択されたことに伴い、3月専決予算で29年度予算に前倒し計上したため、減額補正するものです。

報告第6号及び第7号については、平成29年度国庫補助事業の採択を受け、平成30年度事業を前倒しで実施するもので、平成29年度3月専決予算におきまして、継続費の年割額変更を行いましたことから、繰越しを行うものです。

議案第43号については、池の川総合公園駐車場整備事業用地を買い入れるものです。

委員 市議会でも通学路交通安全プログラムについての質問がありましたが、先日発生した地震により、大阪府高槻市で起きたブロック塀の倒壊事故に関連して、日立市のブロック塀の安全確保について、強度や高さ、打音検査の実施など、どのような形で、どこを、誰が調査したのか伺いたい。

学校施設課長 先日の高槻市で起きましたコンクリートブロック壁が倒れたことによる死亡事故について、最も指摘されているのが、倒れたブロック塀が建築基準法に基づく工作物であるということを市が認識していなかったことと、それに対して、危険性がある箇所だということを協議していなかったことにあります。さらには、安全面を専門としない市の担当職員が判断してしまったことが報道等も含めて問題視されていると認識しています。

日立市学校施設課においては、施設の安全点検を毎年1回必ず行っています。併せて、3年に1回行う建築基準法に基づく12条点検というものを、平成28年と29年に実施し、指摘箇所については改善を行ってまいりました。

これらを踏まえ、この度の地震の発生に対しては、担当者と建築基準法に基づく定期点検報告書を確認し、該当するコンクリート壁があるかどうかをすぐに調査したところ、日立市には該当する壁はないことを、書類上と、施設について熟知している担当者が、そのような工作物の有無について確認を行いました。

さらに、各学校へ、改めて緊急施設点検を実施し、現在のところ倒壊の恐れがある壁はないことを確認しました。この中で、壁ではなく遊具物であります。当てたボールが返ってくる「投てき板」が市内に13基あり、うち3基、建築基準法の基準を満たしていないものがあることを確認いたしました。これに対し、修繕又は撤去など、適切な措置を行っており、その間、子どもたちが近づかない、

使わないよう学校長に協力を依頼し、了解いただいたところです。

以上のような状況から、日立市においては、危険な壁等に対する安全性は確保できていると考えています。

委員 この度の地震については、建築基準法に関することを中心に報道されてきました。学校施設の安全管理については、建築基準法と学校保健安全法の両面から見ていく必要があると考えますので、それらの観点から安全に向け取り組んでほしいと思います。

また、この機会に、教職員や行政職員だけではなく、児童・生徒が実際に危険だと感じている箇所を見させて、危険個所の洗い出しをするのも検討してみたいと思います。

委員 防犯対策についての要望です。

新潟市での児童の殺害事件を受け、児童生徒の下校時刻に合わせた防犯パトロールの必要性を改めて感じているところです。各地域しっかり行われていることは見受けられますが、パトロールの中心であるコミュニティの方の高齢化と、担い手不足により、十分な人数が確保できるのか心配な状況です。特に学校から離れた地域になると、児童生徒も1～2人となり、危険が伴います。ぜひ人材不足の解消やパトロールの強化について、関係機関や市の関係課所への働き掛けをお願いしたいと思います。

委員 同様に、子どもたちの安全確保について伺います。

最近、藤枝市や富山市などで不審者に関する事件が起き、教育委員会で所管する施設は学校を含め多数あることから、周辺や敷地内で不審者が現れた場合に何も武器を持たずに、どのように安全を確保するのか気になっています。刺股（さすまた）などはあるかもしれませんが、それだけでは対応できない事案も今後出てきます。

日立市ではどのような安全対策をしているのか、現在の状況を教えてください。

学務課長 富山市の発砲事件については、2人が亡くなる非常に痛ましい事件で、容疑者が学校敷地内に入ってきたことから、危機管理を徹底させる必要性を感じています。

各学校とも、不審者が現れた際は、危機管理マニュアルに基づいた対策をしておりますが、今回の事件のような発砲についての対策まで徹底されていないというのが現状です。

不審者を入らせない予防策として、門扉を閉めることや、訪問者には受付で記名と名札をするようお願いしています。また、見慣れない方については、挨拶等による声掛けも行っています。万が一、不審者が侵入した場合は、すぐに校内放送を入れ、先生方に周知し、

情報を集め警察へ報告しています。また、現場には教職員が急行し、子どもたちは、安全な場所に避難させる等の対策をしています。

しかしながら、やはり発砲についての対策については、まだ不足しているところがございますので、引き続き学校への働き掛けを強化してまいります。

(2) 第7次行財政改革の推進状況について

教 育 長 それでは次に、その他(2)について、教育部長から説明をお願いします。

教 育 部 長 第7次行財政改革の推進状況について、教育委員会所管部分について御説明いたします。

まず、「学校給食共同調理場の統合」についてです。こちらは、今年度の当初予算にも計上し、来年4月の開始に向け整備を進めているところです。

続いて、「スポーツ広場等の在り方検討」についてです。こちらは、主に中里スポーツ広場の今後の運営方法について、検討を進めているものです。

続いて、「視聴覚センターの在り方検討」についてです。こちらでは、視聴覚センターの業務全般の見直しと精査を進め、記念図書館との業務統合などについて検討しました。

続いて、「効果的・効率的な図書館運営方法の検討」についてです。こちらでは、図書館の運営方法を検討するワーキングチームを設置し、図書館全4館で協議する体制を整えました。また、先進地視察を実施し、職員の配置状況等について調査しました。

最後に、「電子書籍貸出サービスの導入検討」です。こちらについてもワーキングチームを設置し、導入のメリットや課題等を検証しました。また、すでにサービスを実施している自治体の導入事例についても調査を行いました。

(3) 平成29年度審議会等の開催状況について

教 育 長 それでは次に、その他(3)について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 教育委員会が設置しております10の審議会や委員会などについて、平成29年度の開催状況を、報告をさせていただきます。

「奨学生選考委員会」は、例年どおり、奨学生の選考を行うために、3月に開催いたしました。

「小中学校学区審議会」は、平成28年度に続き、昨年度も、教育委員会からの諮問がなかったことから、開催はしませんでした。

「教育支援委員会」は、6回の会議を開催し、特別な支援が必要と思われる方の適正な就学先などについて、審査等を行いました。

「社会教育委員会」は、5回の会議を開催し、現在策定を進めている日立市教育振興基本計画と一体的に策定する「日立市生涯学習推進計画」などについて、審議を行ったところです。

「いじめ調査委員会」は、教育委員会からの諮問はありませんでしたが、1回の会議を開催し、平成28年度いじめ重大事態の経過報告等を行いました。

「文化財保護審議会」は、3回開催し、旧共楽館の2階部分改修工事についてや、日立風流物のユネスコ無形文化遺産への再登録などについて審議を行いました。

「郷土博物館協議会」は、2回の会議を開催し、平成29年度の事業について協議をしていただいております。

「市立図書館協議会」は、2回の会議を開催し、平成28年度の事業報告を行うとともに、平成29年度の事業計画について、審議を行いました。また、指定管理者制度導入検討の一環として、委員の方々につくば市立図書館、土浦市立図書館への視察に行ってください。

「視聴覚センター運営委員会」は、1回の会議を開催し、平成29年度の事業報告を行うとともに、平成30年度の事業概要について、審議を行いました。

「学校給食共同調理場運営審議会」は、教育委員会からの諮問に応じ、1回開催し、学校給食費の値上げについて、協議をしていただきました。

委 員 「小中学校学区審議会」について、今の説明によると、平成28年度、29年度と会議に開催がなかったということですが、それ以前の開催はあったのでしょうか。

学 務 課 長 当審議会は、平成13年度を最後に会議を開催していない状況が続いております。一方で、少子化などの社会問題を背景に、現在、学校適正配置の検討を進めているところです。

今後、学校再編の方向性が定まれば、学区の見直しや検討が必要になってまいりますので、当審議会は今後も継続していきたいと考えております。

委 員 審議会としてこれからすべきことについては分かりました。しかしながら今後は、学区の変更希望者の申請や許可についてはルール化するなどして、場合によっては審議会そのものを解散するなど、事務の効率化を検討していただければと思います。

併せて、他の委員会や審議会についても、時には見直しをする必

要があるかと思えます。

(4) 外国語指導助手（ALT）の新規任用等について

教 育 長 それでは次に、その他(4)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 小学校の外国語活動と中学校の英語の授業のアシスタントをする外国語指導助手（ALT）の新規任用者について御報告します。

今回新規に任用したのは、ジェンキンス・ミガン・クリスティーナさんです。出身は、日立市の姉妹都市であるニュージーランドのタウランガ市で、年齢は23歳です。任用期間は、平成30年6月11日から平成32年3月31日までです。助川小学校と助川中学校に配置し、すでに勤務が始まっています。

平成22年に、本市のガールスカウト派遣団一行がタウランガ市を訪れた際、ホストファミリーとして受入れをした経験があります。また、本人は、タウランガ市のガールスカウト派遣団の一員として日立市を滞在したこともあり、そのような経験から本市のALTに応募した経緯がございます。

現在のところ、日本語はほとんど話せませんが、とても明るく愛嬌がある人柄であるため、勤務して2週間程ですが、子どもたちから早くも人気を集めています。

継続任用者は、ストーニー・ブライアン・マイケル、ホームズ・ウィリアム・アンドリュー、ウドラフ・ジリアン・レイの3人で、各学校に配属されています。

(5) 学校評議員及び学校運営協議会委員の委嘱状況について

教 育 長 それでは次に、その他(5)について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 各学校や各幼稚園等の学校評議員と、平成29年度からモデルとして設置された学校運営協議会委員の委嘱状況について御説明いたします。

本市における学校評議員制度は、平成17年度から実施しており、開かれた学校づくりを目的として、学校の教育目標や教育計画、児童生徒の健全育成、家庭や地域との連携など、学校運営に関して意見を述べ、校長や園長は、それらの意見を参考にしながら学校運営を進めていくものです。

定数は規定により学校又は幼稚園ごとに6人以内となっており、今年度は幼小中・特別支援学校合わせて、213人を委嘱しました。委員の構成は、コミュニティ単会の会長や民生委員など、地域の中

心となって活動している方々に委嘱している割合が高いです。また、年齢別で見ますと、60代が最も多く、続いて50代、70代の順となり、全体の8割を50代・60代・70代が占めている状況です。

続いて、学校運営協議会委員についてです。

所掌する事項は、学校運営に関すること、地域との連携や学校への支援に関する事など、保護者や地域住民が一定の責任と権限を持って学校運営に参画する制度となっています。

定数は各校20名以内です。今年度、モデル校として小中学校合わせて9校に設置し、合計で96名に委嘱いたしました。委員の構成としては、学校評議員と同様にコミュニティ単会の会長や、PTA、教員等です。年齢別に見ますと最も多いのが40代で、次が50代となり、学校評議員と比べると保護者世代が多くなっています。また、60代、70代の方もおり、比較的バランスのとれた構成となっています。

委 員 学校運営協議会委員の人数について、定数20名となっているところ、塙山小学校は27名と定数より多くなっているのは、先程の市議会の報告にもありましたが、塙山小学校はコミュニティスクール協議会として、学校運営協議会と地域学校協働本部が一体型で進めているという理由からかと思えます。

学校運営協議会制度は、学校と地域の連携の橋渡し役として非常に大事な役割を担っていると考えます。委員の人数が多いと発言の機会が少なくなってしまう、一人一人が意見をしっかりと言えるのが気になりますがいかがでしょうか。

指 導 課 長 委員の御指摘のとおり、塙山小学校では、学校運営協議会とそれを支える地域学校協働本部が一体化し、それぞれで関わりを持っている方々を合わせると27名という人数になります。

規定における定数の20名は若干、数が多い印象があるかと思いますが、平成29年度の要綱においては、定数15名となっておりました。今年度20名に増やした背景には、平成29年度のモデル校である駒王中学校が、今年度は宮田小学校と中小路小学校を合わせて一つの中学校区で運営協議会を設置する計画があったため、定数を増やしたという経緯があります。

塙山小学校については、学校と地域の要望もありましたので、今回定数は超えましたが、モデルとして柔軟に対応いたしました。

いずれにしても、モデル校の実践を通して、最終的に適正な人数を定めた上で、ひたちらしい学校運営協議会制度を作りたいと思います。

委員 たくさんの方に委員になっていただくのは良いかと思いますが、一人一人が意見を述べられるよう会議時間の確保をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

(6) 日立風流物展示施設整備検討について

教育長 それでは次に、その他(6)について、郷土博物館長から説明をお願いします。

郷土博物館長 日立風流物は、ユネスコの無形文化遺産に登録されておりますが、収蔵庫の老朽化を始め、様々な課題があります。それらを踏まえ、今年度から日立風流物展示施設等を整備する方向で検討を始めます。

まず、検討方法については、「日立風流物展示施設等整備検討委員会」を設置し、幅広い視点から意見を伺い、その協議結果をまとめ、「日立風流物展示施設等整備基本計画」を立案していきます。

基本的な考え方としましては、日立風流物の展示と活用を図るための新たな施設を建設すること、日立風流物の保存と継承のための機能を整備すること、新たな施設がにぎわいづくりの役割を担えるよう付加価値を持つことを考えていきます。

検討委員会の実施回数は4回を予定しており、新施設の機能・内容などを協議し、基本計画の立案作業を進めていきます。

検討委員会のメンバーについては、15人程度とし、構成は、文化・学術系の方に加え、にぎわいづくりの観点から観光・商業面の関係者の方と庁内関係課長に参加をお願いする予定です。具体的な委員については、現在調整をしているところです。

委員 検討委員会の構成について、おおよそ関係する団体や職種は網羅されていると思いますが、建物の建設や改修に造詣の深い方や知見を有する方など、建築の専門家が入るべきだと思いますが、いかがでしょうか。

仮に建築関係については業者へ委託することを考えていたとしても、委託先から提出された内容について、発注側として建築の観点から良いか悪いかの意見を述べられる必要があると思います。

郷土博物館長 御指摘いただいた内容は留意すべきことであると考えています。建築的な知見を持つ部分に加え、風流物自体の構造解析も必要になってまいりますので、伝統建築に関する知見を持った方にも委員になっていただけるよう調整を進めたいと思います。

(7) 長者山遺跡の国史跡への指定等について

教 育 長 それでは次に、その他(7)について、郷土博物館長から説明をお願いします。

郷土博物館長 新聞記事等で報道のありましたとおり、平成30年6月15日(金)に開催された国の文化審議会の審議及び議決を経て、本市の長者山官衙遺跡及び常陸国海道跡を含む計14件が、新たな国指定にふさわしいとして、答申されました。なお、申請時においては、常陸国海道跡東海道常陸路跡という名称でありましたが、変更となりました。

文化庁の評価としましては、古代の官公庁の遺跡としての評価に加え、古代の交通政策を知る上で重要であるとされました。

今後の予定としましては、指定の正式決定が官報で告示されることとなり、今年度の10月から11月頃になる見込みです。それに伴い、記念講演会を開催したいと思います。期日は、今年11月10日(金)を予定しております。

委 員 国史跡への指定は非常に喜ばしいことだと思います。文化財は管理と保存も当然のことながら、活用されることが大事だと思います。案内役の方や管理する方を地域で組織づくりをするなど、活用の面も考えていってほしいと思います。

郷土博物館長 活用については、今年度、活用の準備委員会を立ち上げる予定です。史跡そのものを保存していくにはどのような形状がいいのかなど、ガイドラインを固め、その後どういった検討が必要なのか整理していきたいと思います。

また、可能であれば来年度、準備委員会から活用検討委員会に格上げし、具体的な検討に入りたいと考えています。

(8) 教育委員会関連行事等について

教 育 長 それでは次に、その他(8)、教育委員会関連行事等について、まず学校夏季休業期間中の教育委員会関連行事について、総務課長から説明をお願いします。

総 務 課 長 学校の夏休み期間中に実施します行事について、御案内をさせていただきます。

この後、説明いたします「日立市一斉ラジオ体操の日」と「日立市教育振興大会」のほか、中学校区単位で開催する「小中学校の再編に関する保護者との懇談会」や、8月4日(土)の本市で初めての取組となります「子ども議会」の開催など、委員の皆様には、お忙しいこととは思いますが、御出席が可能な行事がございました

ら、ぜひ会場まで足をお運びくださるようお願いいたします。

教 育 長 続きまして、「日立市一斉ラジオ体操の日」の実施について、生涯学習課長から説明をお願いします。

生涯学習課長 ラジオ体操は、現在日立市を挙げて取り組んでいるところです。そのような中、昨年度「夏季巡回ラジオ体操・みんなの体操会」を実施したことは、考案者の遠山喜一郎氏の認知やラジオ体操普及の大きな契機になったと考えています。こうした機運を一過性のものとせず、継続した取組としていくために、「日立市一斉ラジオ体操の日」を設けるものです。

実施日は7月22日（日）で、夏休み最初の日曜日を今後「日立市一斉ラジオ体操の日」として、毎年の恒例行事としていきたいと考えています。

実施方法としては、午前6時30分からのラジオ放送に合わせて、23のコミュニティごとに行うことを基本としています。しかし、会場まで足を運べない方もいますので、町内会や子ども会、あるいは家族単位など、実施単位や場所を問わずに、日立市民がこの時間には一斉にラジオ体操に取り組むものとなるよう考えています。

また、コミュニティの会場のうち、今回は会瀬学区と成沢学区が共同で取り組む池の川さくらアリーナをメイン会場としまして、ラジオ体操指導士を派遣し、ポイントレッスンも併せて行いたいと考えております。

教 育 長 続きまして、平成30年度日立市教育振興大会の開催について、指導課長から説明をお願いします。

指 導 課 長 平成30年度日立市教育振興大会の御案内です。

市内の教職員と保護者が一堂に会する機会は、日立市教育振興大会しかございません。この機会に、教育の今日的な課題を捉え、より望ましい教育の在り方を研修することで本市教育の振興を図るものです。期日は、8月3日（金）で、受付は午後0時10分から行います。場所は日立市民会館です。

内容は、永年勤続者の表彰や、学校、子どもたち、PTAによる研究発表がそれぞれございます。さらに、教育講演会として、今年度は、江上 いずみ 氏を講師としてお呼びしています。江上氏は、JALの客室乗務員を経まして、現在「おもてなしの心を育む」をテーマに、様々な機会講師としてお話をいただいております。

閉会は午後4時30分を予定しております。

5 次回の教育委員会の日程について

教 育 長 それでは、次回の教育委員会定例会の日程について、総務課長からお願いします。

総 務 課 長 平成30年7月26日（木）午後1時30分から、日立市役所4階庁議室で開催予定です。

6 閉 会

教 育 長 それでは、以上をもちまして、教育委員会6月定例会を終了します。

以 上